

**Beyond Limits. Unlock Our Potential.
To the Next Stage.**

**第 2 期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画
(既存拠点都市用)**

コンソーシアム等の名称：広島地域イノベーション戦略推進会議

I. 全体ビジョン

1. スタートアップ・エコシステム拠点形成の目指す姿・KPI

(1) エコシステムの現在地と5年後の目指す姿

- 広島県は、多様な産業が集積し、**挑戦する文化**が根付いている地域である。ダイソーやカルビーといった世界で活躍する大企業も、広島で挑戦をスタートさせた。
- また、過去から一貫して産学官連携での技術革新や研究開発を行っており、スタートアップが**挑戦しやすい環境**が整えられている。
- 挑戦しやすい文化や環境を背景に広島地域のエコシステムは形成され、現在広島県内のスタートアップは**約150社**まで積み上がり、資金調達額も72億円と5年前と比較し1.4倍に増加するなど、スタートアップのステージも着実に成長してきた。
- これまでの実績と挑戦する文化、そして強固な産学官連携に裏打ちされた**広島の実力を活かし**、スタートアップエコシステムの関係人口を倍増させ、**広島からユニコーン企業を創出**する。
- 今後、広島地域の取組を県外へ波及させていくとともに、カンファレンスへの共同出展などを契機として、**瀬戸内地域を中心とする各自治体等との連携**を深めていく。

挑戦する文化
(広島発の企業一例)

オタフクソース オリコ
カルビー ダイソー
ディスコ マツダ
洋服の青山 その他多数

県内インキュ
ベーション施設

30施設
以上



【KPI】

項目	R7年度	R9年度	R11年度
スタートアップ企業数	180	200	500
投資金額	100億円	400億円	1,000億円
ユニコーン企業数	0	2	6

中四国地方**企業数**(県別)
1位

1位 広島県 78,000 社
2位 岡山県 50,000 社
3位 愛媛県 39,000 社

出典: 令和3年経済センサス-活動調査

VC投資**金額**

令和元年度 令和5年度
50億円 ▶ 72億円

出典: ベンチャー白書

VC投資**件数**

令和元年～5年度累計
630 件

出典: ベンチャー白書

イノベーション創出拠点

利用者数

令和5年度

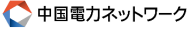
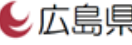
8,000人

出典: 広島県調べ

I. 全体ビジョン

【エコシステムの類型】

当地域では、スタートアップの成長と協業を支える産学金官言の様々なプレーヤーが相互につながりながら、多様な分野、領域でのイノベーション創出に取り組んでおり、今後「**広域都市圏型**」での成長を目指していく。また、将来的にグローバル成長の可能性を有する分野のスタートアップに対して、集中支援していく仕組みづくりを検討していく。

 LTS	J-WEST CFO COMMUNITY メンバー:34人	 STUily	 経済産業省 中国経済産業局	 中国新聞社	 NBC 会員企業:459社	 Energia 中国電力	 HIROJIREN
 中国電力ネットワーク	 Be a Great Small. 中小機構	 TSUNEISHI	 JFC 日本政策金融公庫	 JETRO ジェトロ広島	 HIB HIROSHIMA INNOVATION BASE 会員:44名	 広島銀行	 東広島市
 広島県	 広島市 The City of Hiroshima	 ひろしま好きじゃけんコンソーシアム Hiroshima LOVE consortium 参加機関:102社	 広島大学	 HVC Hiroshima Venture Capital	 PSI 参加大学:17大学	 MAZDA	ひろしま環境ビジネス 推進協議会 参加総数:302企業・団体
 MIZUHO	 ミライゴト	 広島県立大学法人 叡啓大学 EIKI UNIVERSITY OF HIROSHIMA	 J-Startup WEST サポーターズ:266機関	 一般社団法人 中国経済連合会			

(2) 世界に発信できるセールスポイント(イチ押しポイント)

産学金官言連携によりイノベーションへの挑戦をサポートする土壌

- ・これまでに広島地域の強固な産学金官言連携から多くの製品・サービスを輩出し、高い付加価値を創出
- ・自動車・造船・鉄鋼の基幹産業からライフサイエンスなどの新産業へ発展

【例】

ライフサイエンス

- 1990年代に広島大学近隣に、国や県、大学、企業などの試験研究機関が集積する広島中央サイエンスパークを整備（現在は12機関）
- この広島中央サイエンスパーク内で国費も活用しながら、広島大学のシーズを基に医療、創薬、機能性食品などの分野に集中して、企業との共同研究により研究開発を実施
- こうした取組を通じて10社以上のバイオベンチャーの創出、数十社の新規事業創出につながっている。



自動車

- 産学官が連携し広島地域の自動車産業を活性化することを目的に、2015年にひろしま自動車産学官連携推進会議(ひろ自連)を設立
- マツダを中心とした地域企業、大学、行政等が協同し、デジタル化、EV化に対応した新技術の創出に向けたシーズ探索や技術人材を育成
- 材料モデルベースリサーチ、データ駆動型スマートシステム、スマート検査・モニタリング、スマート蓄電池システム開発、スマート空調システム開発5つの研究プロジェクトでは、それぞれに共創コンソーシアムを組成し、延べ76社・機関が参画し、総勢1,418名が関与



Ⅱ. 世界とシームレスに繋がる

(1) 実績

- スタートアップが急成長するためには、グローバル市場の獲得が必要不可欠であることや、特に**ディープテック系のスタートアップ**は事業の初期段階から海外機関との連携が重要となることを念頭に、海外進出支援や海外エコシステムとの連携、海外スタートアップの呼び込み、**瀬戸内地域が共同してカンファレンスへの出展**に取り組んできた。
- 東南アジアでのネットワークプラットフォームであるJSIP※と連携し、**広大発スタートアップ**などの海外進出支援を実施
- インドやオーストラリアのアクセラレーター**や**海外のマリンテック系スタートアップ**を招へいするなど、海外スタートアップの呼び込みにも積極的に取り組んでいる。（※日本企業の東南アジア進出を支援する東南アジア在住の日本人を中心に構成された団体）

海外展開支援

（過去5年間の実績）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
支援企業数 （累計）	—	11	31	87	141

【主な取組】

大型カンファレンスへの出展 （広島県、ジェトロ広島、愛媛県ほか）

SusHi Tech Tokyo 2025

- ・広島県及び愛媛県、両県スタートアップが共同で「瀬戸内パビリオン」として、出展・ステージ登壇
- ・300名以上のスタートアップ・VC・支援機関などとの接触に繋げ、取組のプロモーションを図った
- ・スタートアップにおいては、100件以上のVC や事業会社とのマッチングを促して資金調達や協業・連携機会を創出
- ・今後、瀬戸内地域において、共同出展する自治体等の増加を図り、規模の拡大につなげる

（その他の出展：IVS 2024 KYOTO、
Climbers Startup JAPAN 2024 ほか）



アニマル・スピリッツ補助金 （広島県、ジェトロ広島、ひろしま産業振興機構）

新たに海外へ挑戦する県内企業向けに、補助金（上限額なし）で支援

- ・R6支援企業…35社
- ・R6ターゲット国…42か国



ASIA CO-CREATION PROGRAM （広島県、広島銀行、広島大学）

県内スタートアップの東南アジア等への海外進出のスピード化を図るプログラム

- ・R6支援企業数…6社
- ・内、現地人材採用企業…1社



海外アクセラレーションプログラム （ジェトロ広島、広島県、広島大学）

グローバル市場で活躍できるスタートアップを広島から多く輩出することを目的としたアクセラレーションプログラム

- ・累計県内支援企業数…20社



Ⅱ. 世界とシームレスに繋がる

海外エコシステムとの連携強化

(過去5年間の実績)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
連携件数 (累計)	—	—	4	7	14

【主な取組】

海外アクセラレーター招へい・マッチング (ジェットロ広島・広島県・広島大学)

ライフサイエンス分野に強みがあるという地域の特性をふまえ、インドやオーストラリアからの医療・ヘルスケア関連のVCやアクセラレーターを招聘し、広島企業との個別マッチング等を実施。

・招へい数…3社(団体)



AAICとの連携 (ジェットロ広島・広島県など)

県内スタートアップの 아프리카・インド進出の機運醸成を目的とするセミナーの開催を契機とし、今後、新興国での投資育成事業等を行うAAICとの連携強化を検討していく。

JSIPとの連携 (広島県・広島銀行・広島大学)

東南アジアでの事業展開を志向するスタートアップに対して、現地での事業展開に必要なネットワーク構築や人材の獲得、拠点設置等の支援を実施し、海外進出のスピード化を図るため、シンガポールの日系団体(JSIP)と連携。

【ネットワーク構築支援】

- メンタリングやビジネスモデルのブラッシュアップ
- パートナー候補企業、潜在顧客との商談、現地施設・コミュニティへの訪問などの現地セッション
- 現地投資家・政府関係者・コミュニティ・事業会社向けのピッチ機会

【拠点設置・人材採用支援】

- 活動拠点や拠点設置に係る手続きについてサポート
- ビジネスモデル・事業戦略・ニーズに合わせた採用計画の作成から、採用計画に合わせて人材エージェントの紹介



Ⅱ. 世界とシームレスに繋がる

海外スタートアップの呼び込み

(過去5年間の実績)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
呼び込み・連携件数 (累計)	—	—	3	6	12

【主な取組】

マリンテック企業招へい事業(ジェトロ広島・広島県)

シンガポールとデンマークのマリンテック分野のスタートアップを3社招へいし、瀬戸内海でのビジネスの可能性を模索
・県内企業等個別マッチング件数…15件



海外スタートアップ等連携実証プロジェクト創出事業 (広島県)

環境・エネルギー分野で県内企業が海外のスタートアップ等と連携して、新規ビジネスを創出を目指すプログラム

選定企業(R6)

取組内容

池田糖化工業	マレーシア・インドネシアのスタートアップと連携し、エビ養殖業からの廃棄物を活用したエキスを開発・販売を検討中
ト部産業	牡蠣殻有機肥料を活用し、フィリピンの農地土壌改善と生産性向上に向け現地スタートアップとの連携を検討中
清水化学	グルコマンナンを活用した天然由来資源パッケージの強化・改善による普及拡大について、マレーシアのスタートアップとの連携を検討中

累計支援件数

52社

(2) 目標

- グローバルで戦えるスタートアップの技術領域を類型化し、その特性に応じた海外エコシステムとの連携を強化する。
- 海外進出への熱い志を持つすべてのスタートアップに対し、コンソーシアムが一体となって支援を行う。

【KPI】

項目	R7年度	R9年度	R11年度
海外エコシステムとの連携件数(単年)	8	8	8
海外展開支援企業数(単年)	53	55	57
海外スタートアップの呼び込み件数(単年)	6	7	8

Ⅱ. 世界とシームレスに繋がる

(3) 今後の取組

- 広島県の有する資源や強みを具体的に細分化し、それぞれの分野とマッチする外国企業・エコシステム機関の誘致・招聘を意識した事業展開を検討していく。
- 創業時点から海外市場で挑戦するなどグローバル起点のスタートアップを増やすため、コンソーシアム内で支援策を検討し、海外進出のスピード化を図る取り組みを拡大させる。
- また、スタートアップの多様なニーズに対応するため、コンソーシアム全体として、東南アジアや欧米、インドなど世界各地での支援を展開するとともに、ネットワークの構築や事前調査、アクセラレーションなど支援内容の充実を図り、海外市場を獲得するスタートアップの創出につなげる。

【実施予定の主な取組】

Hiroshima Global Connection(仮称) (ジェトロ広島、広島県、県内大学等)

グローバルな社会課題の解決に寄与するような成長意欲の高いスタートアップの創出、協業創出及び海外エコシステムとの連携を目指し以下の3つの事業を実施。

- ① 海外エコシステム機関等の招へい
- ② 伴走型個社支援
- ③ 海外展示会等出展支援

広島大学

(広島大学、ジェトロ広島、広島県等)

広島県、JETRO、JSIPや現地支援者と連携しながら、広島大学発スタートアップの情報をシンガポールをハブとしてアジア地域に発信する。

また、シンガポールに次ぐ海外展開として、バイオ・ライフサイエンスの技術シーズ育成に強みを持つ米国・ボストンに展開を行う。

さらに、海外投資家等によるセミナーの開催を通し、スタートアップ経営者・経営者候補人材のグローバルマインド醸成を行う。

海外ネットワーク構築支援

(広島県、広島大学、ジェトロ広島、JSIP等)

現在、東南アジアで実施しているネットワーク構築支援について、より多様なスタートアップニーズに答えられるよう、欧米やインド、アフリカなど対象エリアを拡大して支援を実施。



海外進出事前調査事業(PMF支援)

(広島県、広島大学、ジェトロ広島、JSIP等)

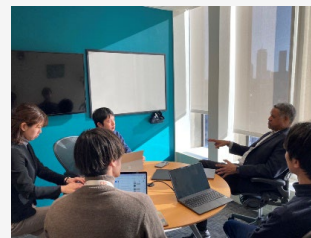
スタートアップの海外進出をより効果的かつ短縮化できるよう、進出計画のブラッシュアップやローカリゼーションなど進出前の事前調査支援を実施。



アニマル・スピリッツ補助金

(広島県、ジェトロ広島、ひろしま産業振興機構)

R7年度もアニマル・スピリッツ補助金を継続実施し、スタートアップの海外進出を資金面でバックアップする。



外国人材エンジニア就労促進事業

(ジェトロ広島、広島県、県内大学等)

国家戦略特別区域による外国人エンジニア就労促進事業の活用により、入国審査の迅速化及び審査期間を明確化し、スタートアップの成長を担う優秀な外国人材の計画的な受入・採用を促進する。



Ⅲ. スタートアップの成長を支援する

(1) 実績

- 広島県は平成28年にオープンイノベーションの創出の場として「イノベーション・ハブ・ひろしまCamps」を開設し、過去5年間で233件のマッチングの実施など、多くのオープンイノベーションを創出してきた。
- 令和6年、地域企業が主体となりオープンイノベーションイベント「-TSUNAGU広島-2024」を初開催。主催3社、スタートアップ**126社**、他協賛83社・団体が参画。**約 3,400人の来場者で多くのマッチングが生まれ**、広島のポテンシャルを国内外に示すことが出来た。**(ダイジェストムービー)**
- また、中国電力ネットワークや広島銀行等民間事業者が主体となって、県内の大企業とスタートアップの協創プログラムを実施するなど、地域全体で**オープンイノベーションの機運**が高まってきている。
- 広島大学が中核機関となる大学スタートアップ・エコシステムPSIでは、中国・四国地域初で最大規模の大学発スタートアップ推進プログラム「PSI GAP ファンドプログラム」(GAPファンド)を開始した。PSIは、GAPファンド採択者に対して、**起業を目指す研究者を資金・人材・国際展開面等から支援**を行う。
- また、スタートアップの革新的な技術・サービスで地域課題の解決に取り組む広島県の取組(ひろしまサンドボックス)では、これまでも**公共調達に繋がるマッチング機会を提供**している。

オープンイノベーション

(過去5年間の実績)

	R2	R3	R4	R5	R6
マッチング件数 (累計)	32	75	159	249	254

【主な取組】

イノベーション・ハブ・ひろしま Camps (広島県、LTS)

新たな挑戦を志す多様な人が集まるコミュニティ交流施設として広島市内に設置。コミュニティマネージャーとスタートアップアドバイザーを配置し、施設に訪れる挑戦者の個別相談や交流を促進している。



会員登録者数 4,563人
R5年度 個別相談件数 1,064件
R5年度 マッチング件数 84件

Co-Creation with Network (中国電力ネットワーク)

電力会社のネットワークを活用し、共創パートナーとともに新たな価値創造に取り組む共創プロジェクトを令和6年からスタート。5社と共創、内1社と実証が開始

【R6年度採択企業】
アークエルテクノロジーズ
DATAFLUCT
ドローンショー・ジャパン
ハイレゾ
Waqua



-TSUNAGU広島-(ひろぎんホールディングス、広島ベンチャーキャピタル、中国新聞社) 協賛(マツダ、広島大学、イズミ、フジタ、ほか多数)

県内企業とスタートアップをマッチングし、広島県内産業の活性化と県内企業の新事業創出・既存ビジネスの変革を促進させるカンファレンス

- ・来場者数…3,400人
- ・出展スタートアップ数…126社
- ・満足と回答した来場者数…90%



ひろしまオープンアクセラレーター
(広島銀行、CREWW、県内事業会社)

広島県内企業と全国のスタートアップの特徴あるサービスを結びつけるオープンイノベーションにより、参加企業の新規事業創出を目指すプログラム

累計マッチング件数
(R元～R5)

44件

参加企業(R5)	スタートアップ
アシードホールディングス	AICE (株) (株) SEAM
オタフクソース	(株)コークッキング (株)ユカシカド
シギヤ精機製作所	AItoAir (株) (株)ミライのゲンバ

成長支援

(過去5年間の実績)

	R2	R3	R4	R5	R6
GAPファンド採択数 (累計)	-	-	9	9	20

R6年度には応用研究段階の「ステップ1」として、PSI参画大学研究者からの申請に基づき11課題(広島県内大学実績)を採択した。採択された研究者に対しては、ステップアップを目指した伴走支援やVCとのマッチングを行っている。



Ⅲ. スタートアップの成長を支援する

公共調達

(過去5年間の実績)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
公共調達に向けたマッチング件数(累計)	9	9	15	41	76



AIチャットボットの導入で
県民からの問い合わせが24時間対応可能に

広島県ではデジタル技術やデータを活用して、県民の皆様の利便性の向上を図り、より質の高い行政サービスへとつなげるため、スタートアップからAIチャットボットを導入



広島県 × stayway

補助金クラウドで広島県のDXを加速

広島県は、補助金クラウドを展開するスタートアップのstaywayから補助金情報収集業務を発注。staywayは広島県が実施するアクセラレーションプログラムにも参加している。

ひろしまサンドボックス(広島県、県内市町ほか)

「ひろしまサンドボックス」では、スタートアップとの共創により、産業や地域における課題解決に向けた実証開発に取り組み、これまでに公共調達が行われてきた。

VR空き家内覧システム

- ・調達者 広島県(住宅課)
ひろしま空き家バンク「みんと。」
- ・開発者 株式会社スリー(東京都)
- ・リアル感あるリモート内覧
- ・ミスマッチ防止



衛星データ×AIによるデジタル農地台帳

- ・調達者 尾道市、安芸高田市、世羅町(農業委員会)
- ・開発者 サグリ株式会社(兵庫県)
大信産業株式会社(尾道市)
- ・農業委員の業務省力化
- ・年間経費削減



The Meet

広島オープンアクセラレーター
Gov-Tech Challenge 自治体 × スタートアップ

令和5年からは広島県内の市町とスタートアップ企業のマッチングに特化した事業を開始
課題を抱える市町と課題を解決出来るスタートアップをマッチングさせることで、公共調達が行いやすい環境整備に取り組み、これまでに60件のマッチングを行った。



(2) 目標

- 令和7年もオープンイノベーションイベント「TSUNAGU広島-2025」を開催計画中のほか、中国電力ネットワーク、広島銀行など民間事業者の実施する協創プログラムや、広島県をはじめとした県内の基礎自治体を巻き込んだプログラムなどを通して官民をあげたスタートアップとの協業事例の創出に取り組んでいく。
- スタートアップによる行政課題の解決を行うThe Meetにおいて、公共調達につながる取組を継続して実施し、スタートアップのマーケットインを牽引する。
- また、成長の過程で従業員の増加や大企業・行政などステークホルダーとの交渉等が増加していく中、社内外との円滑なコミュニケーションを担うCFO人材が必要とされているが、県内にはそうした人材が不足していることから、CFOの育成・採用を支援していく。

【KPI】

項目	R7年度	R9年度	R11年度
県内企業・自治体等とのマッチング件数(単年)	100件	110件	120件
公共調達に向けたマッチング件数(単年)	35件	35件	35件
公共調達件数(単年)	10件	10件	10件

Ⅲ. スタートアップの成長を支援する

(3) 今後の取組

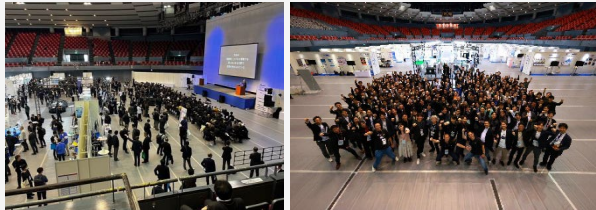
- コンソーシアム内での会議を定例化し、構成員間のネットワーク強化、及び構成員が単独で行っている支援策について共同実施の可能性を協議し、スタートアップに対してより効果的な施策の実現を目指す。
- 広島大学は、大学発の治験薬GMP製造会社(PSI Biologics)を令和6年11月に設立した。中分子医薬のGMP製造の大学内施設は世界で初となる。日本の創薬課題等を解決すべく、当該会社を中心に、企業との連携強化、大学発スタートアップ支援及び人材教育等を促進する創薬エコシステムを形成する。これにより、創薬関連の企業や人材を誘致し、県内に「創薬クラスター」が生じることが期待できる。
- ファイナンスなどの専門人材であるCFOの集積を図るとともに、急成長が見込まれるスタートアップへの集中支援を一つの柱にしていくなど、広島の特性を活かした事業展開を検討していく。
- THE MEETの取組を継続するとともに、新たにスタートアップをはじめとするAI開発者と自治体などとのマッチング事業を開始し、公共調達に繋がる支援をさらに加速させる。

【実施予定の主な取組】

-TSUNAGU広島2025-開催計画中

主催：ひろぎんホールディングス、広島ベンチャーキャピタル、中国新聞社

開催が決定した際は持続可能なカンファレンスを実現するために、コンソーシアム一体となって支援を行う。



-TSUNAGU広島2024-記録写真から抜粋

資本政策支援事業(広島・県内金融機関・広島大学など)

CFO育成プログラム実施やCFO採用に対する補助などを通して、県内エコシステム内におけるCFO人材の集積を図っていくことにより、スタートアップが成長するための環境を整えていく。



【公共調達】

THE MEET(広島県・県内市町)

2年間の事業実施により取組が認知され、自治体やスタートアップからの問い合わせが増えている。
次年度以降は更なる自治体・スタートアップからのエントリーが予想されるため、公共調達に繋がるよう支援を継続して行う。



ひろしまAIサンドボックス(広島県・県内市町・県内事業者)

新規事業として、AIを活用したソリューション開発支援を通じて、実証実験できるフィールドを提供し、公共調達市場への参入のきっかけづくりを目指す。

・R7年度予算規模…2億円



IV. エコシステム形成の土台を作る

1. アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成

(1)実績

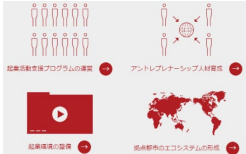
- 広島大学及び中四国地域を代表する16大学(R7.2時点)で構成するコンソーシアムPeace & Science Innovation Ecosystem (PSI)〈広島県内:叡啓大学・県立広島大学・広島市立大学・広島修道大学・広島大学・安田女子大学〉では、アントレプレナーシップ人材育成プログラムを各大学で実施し、今後は各大学で不足したStage等に相互補完していく方針
- また、広島県東部地域にて実施している実践型アントレプレナーシップ教育(Sta-sh)やビジネスコンテスト(せとうちビジネスコンテスト)や、広島起業部コミュニティ(Kiccks)など多くのアントレプレナープロジェクトを実施
- さらに、将来有望な事業アイデアを有する起業家などの発掘・育成を目指すひろしまベンチャー助成金では学生枠を設け、若年代から起業しやすい環境の整備に取り組んでいる。

アントレプレナーシップ

(過去5年間の実績)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
アントレプレナー教育受講者数(累計)	78	246	2,828	5,488	8,310

Peace & Science Innovation Ecosystem



R4年から、広島大学学長のリーダーシップのもと、全学共通の必修科目である「大学教育入門」にアントレプレナーシップの講義を組み、受講率100%を目指して開始した。新入生全員が受講対象
・R6年入学者…2,463名

課題解決演習(PBL)(叡啓大学)

課題解決演習(PBL)の流れ



課題解決演習(PBL)を学生全員の必修科目とし、課題発見・解決力や他者と協働する力、やり抜く力などを養う体験型の教育を実施

- ・プロジェクトテーマ数…15件
- ・学生者数…340人

Sta-sh/せとうちビジネスコンテスト(スタイリィ)



福山発の実践型アントレプレナーシップ教育(Sta-sh)を実施

また、せとうちビジネスコンテストでは地域課題解決に向けて行動を起こす人材の育成を目指したアントレプレナーシップ教育プログラムを実施

- ・Sta-sh参加者…340名
- ・せとうちビジネスコンテスト参加者…108名

広島起業部コミュニティ(Kiccks)



広島県内5つの大学起業部が集まる広島起業部コミュニティがR5に誕生。R6にはイベントを全3回実施し、学生起業や起業に関連したインターンシップ経験者のトークを中心に、学生と社会人の交流を促進

- ・参加学生数…30名以上

Ⅳ. エコシステム形成の土台を作る

(2) 目標

- ユニコーンの創出にはそのベースとなるスタートアップが地域に多く存在することが重要
- 広島県のスタートアップ数は約150社まで増えてきているものの、目標であるユニコーン企業の創出のためには、さらなるスタートアップ数の積み上げが必要不可欠
- 広島県では、全国に先駆けて、乳幼児期から社会人まで、果敢な挑戦心や、やり遂げる力などの起業家精神の重要な基礎となる非認知能力、及び課題発見・解決能力など、知識を総合的に動員し、問題解決を具体的に図る能力などを育成する「学びの変革」を全県的に展開し、起業家精神の基礎を構築しており、それと並行して起業経験やインターンシップなど実践的な教育を充実させることで、**次世代の起業家が生まれやすい土壌**を形成する。

(3)アントレプレナーシップ教育等に関する今後の取組

- 起業家集団のHIBが広島大学と鞆啓大学の生徒を対象としたスカラシップ制度を実施。起業家との実践的な教育機会を提供する。
- イノベーション・ハブ・ひろしま Campsでは、地域課題の解決をテーマに、主体的な若者の育成に取り組む。

【実施予定の主な取組】

HIBスカラシップ制度(HIB・広島大学・鞆啓大学)

広島大学と鞆啓大学の学生を対象に、起業家集団であるHIBの強力なネットワークを活かし、起業経験やインターンシップ、個別メンタリングなど、より実践的なアントレプレナーシップ教育を実施し、若者の起業へのイメージを醸成させる。



【KPI】

項目	R7	R9	R11
アントレプレナー教育 受講者数(単年)	2,950	3,000	3,050

課題解決力向上ワークショップ(仮称)(広島県)

イノベーション・ハブ・ひろしま Campsにて、主体的に課題解決ができる若者を育成し、起業などに挑戦する層を増やす取組と、地域の課題を収集しオープンイノベーションに繋げる教育プログラムを実施する。



IV. エコシステム形成の土台を作る

2. エコシステムを支える人材・組織の確保

(1) エコシステムを支える人材・組織の確保に関する実績

- これまで広島地域では起業家コミュニティ(HIB)や大学間コミュニティ(PSI)など産学官言など各領域で様々なコミュニティが生まれ、それぞれの領域でエコシステムの核となる人物が現れてきた。
- こうしたステークホルダーを中心にグローバル展開やオープンイノベーション、アントレプレナーシップ教育等の取組を地域一帯で取り組むことで、エコシステムが着実に成長させてきた。
- また、他拠点都市との連携では、Tech GALA(セントラル)やIVS(京阪神)等のイベントに参加し、県内の取組を他地域で紹介する一方、広島県主催のイベント「HI! HIROSHIMA」では大阪商工会議所(京阪神)等と連携し、広島県内で京阪神のスタートアップによるピッチイベントを開催する等、拠点都市間相互でスタートアップの成長に繋がる取組を実施してきた。

【過去5年間の実績(エコシステムビルダーに関わる主な人材)】

 小林 史明 氏 ・衆議院議員 ・広島県第6区選出 ・スタイリィ顧問 国会議員で活躍する中、地元の広島県福山市を中心にアントレプレナー教育を精力的に実施	 田原 栄俊 氏 ・PURMX Therapeutics CEO ・PSI代表 ・広島大学副学長 PSIでアントレプレナーシップ教育に取り組むとともに、自身もスタートアップを複数立ち上げている起業家でもある。	 西岡 賢 氏 ・広島ベンチャーキャピタル代表取締役 平成12年から現広島ベンチャーキャピタルに従事し、広島地域のスタートアップの資金面からバックアップ	 吉村 公孝 氏 ・ベイス CEO (IPO済) ・広島イノベーションベース 代表理事 広島イノベーションベースを立ち上げ、自らが起業家のロールモデルとして、県内起業家の育成に取り組む。
 牛来 千鶴 氏 ・ソアラサービス代表取締役社長 ・広島県総合計画審議会委員 平成21年に西日本最大級のシェアオフィスを開業し、人と企業を繋げ、地域を元気にする事業を推進	 平岡 晃 氏 ・元カラダノート CFO (IPO済) ・J-WEST CFO Community 発起人 CFOとしてIPOした経験を活かし、地元広島を中心にCFO職の育成に取り組む。	 星山 雄史 氏 ・ワクト創業者 (EXIT済) ・エル・ティー・エス 執行役員 イノベーション・ハブ・ひろしまCampsのスタートアップアドバイザーに就任、広島のスタートアップコミュニティの中心的な役割を担う。	 湯崎 英彦 氏 ・元アッカネットワークス共同創業者 (IPO済) ・広島県知事 ベンチャー企業を立ち上げ、IPO経験のある起業家としての顔を持つ県知事、イノベーション立県を掲げ行政のスタートアップ施策を牽引

IV. エコシステム形成の土台を作る

【広島県の実施方針】

【広島県の長期ビジョン(2021年-2030年)】

「イノベーション環境の整備」

■これまで培ってきた産学官の連携を更に深化させるとともに、「イノベーション・ハブ・ひろしまCamps」や「ひろしまサンドボックス」を活用し、イノベーションを起こそうとする多様な人材や企業のつながりを創出し、その質を高めていくことを通じて、スタートアップ企業を含む、新事業・ビジネス創出の好循環に資する環境整備に取り組む。

■また、イノベーションの創発を推進するため、ベンチャー企業に対し、従来の地域金融機関による融資のほか、ベンチャーキャピタルを通じた投資等の多様な資金調達や人材確保等の支援に取り組む。

■「ひろしまユニコーン10」プロジェクト

広島からユニコーン企業を10年で10社創出することを目標としたスタートアップ支援施策

広島に「新しいことに挑戦しやすい環境」「挑戦することが当たり前の土壌・文化」を真の目的とし、スタートアップはもちろん、カーブアウトを目指す人、アトツギベンチャーなど、世界に羽ばたき急成長する企業の挑戦を後押しする。



湯崎広島県知事

広島県の予算・人員推移

【実績】

項目	R2	R3	R4	R5	R6
予算(百万円)	912	557	876	882	840
人員	20	23	29	29	30

【今後の計画】

	R7	R9	R11
予算(百万円)	1,055	1,200	1,500
人員	32	34	36

(2) エコシステムを支える人材・組織の確保に向けた今後の取組内容

- 広島地域のエコシステムは、これまで様々な取組を行うなかで、各領域のステークホルダーを巻き込みながら成長してきた。
- 地域エコシステム関係者(86社・団体 約800名)が一体となって実施した「-TSUNAGU広島-」は、こうしたこれまでのエコシステムの取組の結果を示すイベントである。
- このエコシステムを今後さらに成長させていくためには、国内外から人材を巻き込みエコシステム関係人口を増やすとともに、元起業家の湯崎広島県知事や現役起業家の田原広島大学副学長のような広島の顔となる存在が必要であり、新たなキーマの育成や呼び込みを実現する。

【KPI】

項目	R7年度	R9年度	R11年度
コンソーシアムの構成団体数(単年)	23	25	27

【今後の取組】

- ・「-TSUNAGU広島-2025」を開催計画
- ・広島地域イノベーション戦略推進会議を定期開催し、関係者の意識向上を図る。
- ・(株)エル・ティー・エスが運営するMPM事業を軸に、広島大学などの優秀な技術シーズを活かせる経営人材の育成及び確保に取り組む。